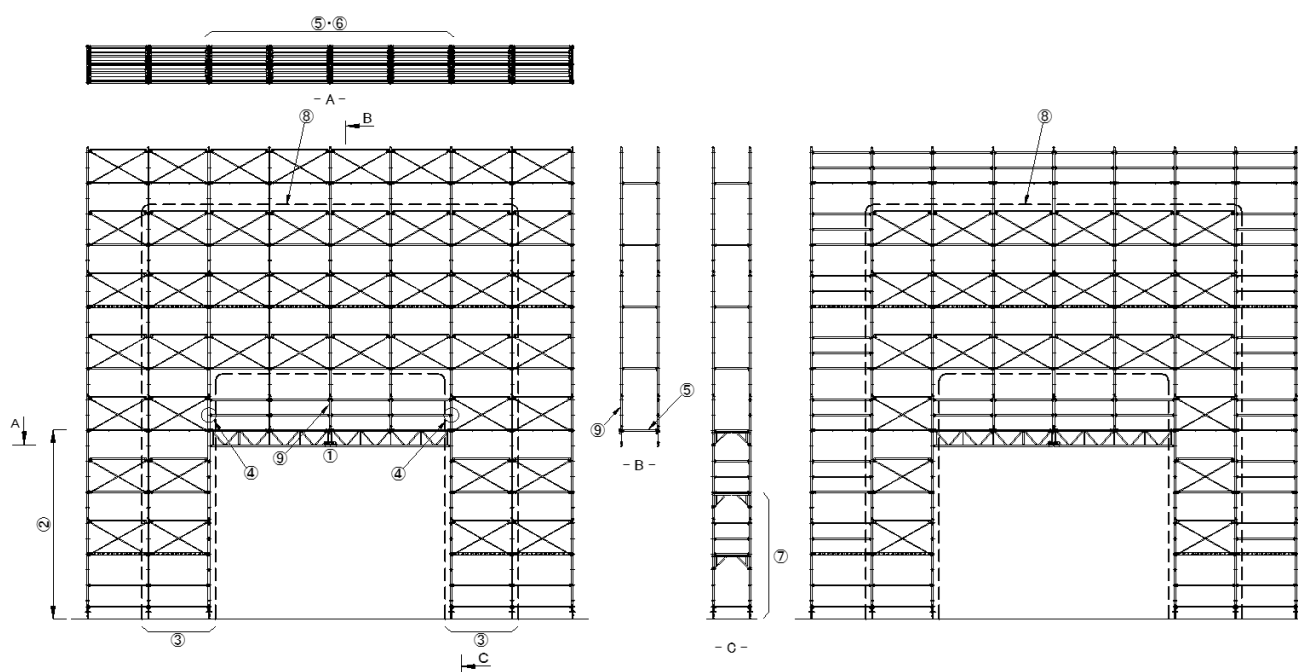


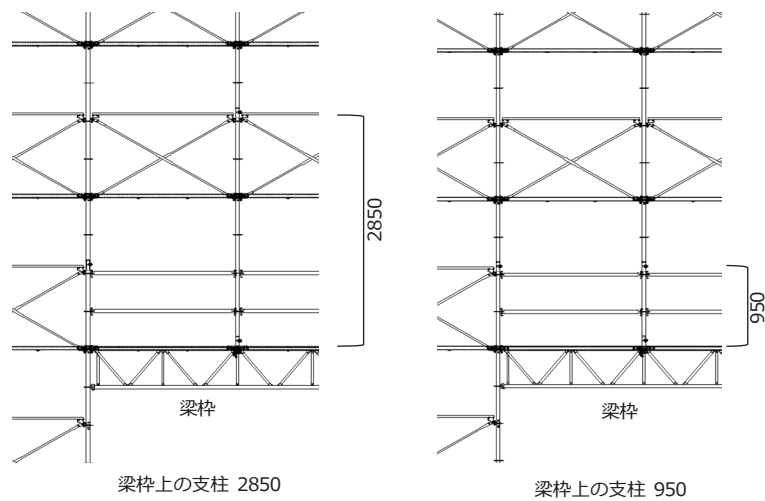
I 梁枠

- 梁枠を用いて足場構面に開口部を設け、梁枠上を作業床とする場合は、次によること。

- ① 専用の部材を使用し、梁枠は前踏みと後踏みの位置に2枚使用すること。
- ② 梁枠を用いた開口部高さは、原則として3層以下とする。
- ③ 梁枠を支持する支柱から、外方に1スパン以上足場を設けること。
- ④ 梁枠支持部付近の支柱には壁つなぎを設けること。
- ⑤ 2枚の梁枠間には、梁間方向に腕木（布材）を取り付けること。
- ⑥ 2枚の梁枠間にはには床付き布わく（鋼製布板）を取り付け、水平構を形成すること。
- ⑦ フレーム補強材を用いる場合は、梁枠を支持する支柱にフレーム補強材を取り付けること。
- ⑧ 下図の赤枠に示すように、梁枠上の足場には梁枠レベルから上方4層まで（但し、梁枠直上は除く）、梁枠の外方1スパンには最下層から梁枠レベルから上方4層まで、両構面に先行手すりを設けること。

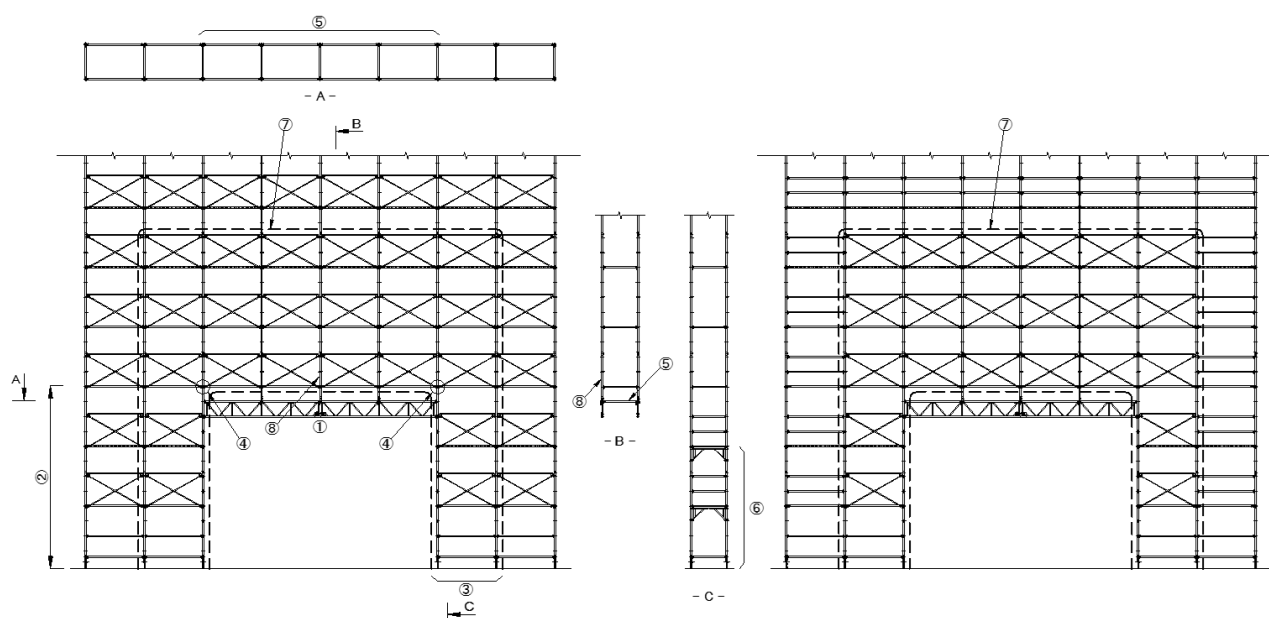


- ⑨ 梁枠の直上には支柱 IQA-2850 または支柱 IQA-950 を用い、ジョイント部が手すりの位置となるように組立を行うこと。



- 梁枅を用いて足場構面に開口部を設け、梁枅上を作業床としない場合は次によること。

- ① 専用の部材を使用し、梁枅は前踏みと後踏みの位置に2枚使用すること。
- ② 梁枅を用いた開口部高さは、原則として3層以下とする。
梁枅上の全層全スパンの後踏み構面に先行手すりを設けること。
- ③ 梁枅を支持する支柱から、外方に1スパン以上足場を設けること。
- ④ 梁枅支持部付近の支柱には、壁つなぎを設けること。
- ⑤ 2枚の梁枅間には、梁間方向に腕木（布材）を取付けること。
- ⑥ フレーム補強材を用いる場合は、梁枅を支持する支柱にフレーム補強材を取付けること。
- ⑦ 下図点線枠に示すように、梁枅上の足場には梁枅レベルから上方3層まで、梁枅の外方1スパンには最下層から梁枅レベルから上方3層まで、両構面に先行手すりを設けること。



- ⑧ 梁枅の直上には支柱 IQA-1425 を用い、ジョイント部が手すりの位置となるように組立てを行うこと。

